

令和4年度「家庭基礎」シラバス

沖縄県立泊高等学校(夜間部)

学年		教科	科目	単位数	
1		家庭科	家庭基礎	2単位	
教科書	東京書籍 家庭基礎 自立・共生・創造	副教材			
学習の到達目標					
1. 人の一生を生涯発達の視点でとらえ、家族・家庭の意義、家族、子ども、高齢者、そして社会との関わりについて理解します。 2. 生活課題を解決するために必要な知識と技術を習得し、家庭生活の充実向上をはかる力と実践的な態度を身につけます。					
評価方法					
前期 考査60% 平常点40% 後期 考査60% 平常点40% (考査点)①学習項目について、理解できているかを中心に評価します。 (平常点)②授業中における関心・意欲・態度・思考・判断・表現・技術・理解について提出物等で総合的に評価します。					
学期	学習内容	月	学習のねらい・目標	備考 学習活動の特記事項、分野横断的な学習など	考査範囲
前期	家庭科を学ぶにあたって	4	「家庭基礎」を学ぶにあたって、学習の意義や内容、情報収集、レポートの書き方など学習の方法、評価の方法を理解します。		
	家族・社会の共生 第1章 生涯を見通す 1 人生を展望する 2 目標を持って生きる 第2章 人生をつくる 1 人生をつくる		<ul style="list-style-type: none"> ・自分自身について客観的に知り、生涯を見通して人の一生について考え、それぞれのライフステージごとの特徴・課題を理解します。 ・男女共同参画社会の中で、一人ひとりが自分らしさを発揮でき、また、男女が協力して生きていける社会について考え、高校生の現在から、これから先の生涯を見通した学習をしていきます。 	自分自身について知り、将来どのようになりたいかを具現化するため、ワークシートを用いながら学習を深めます。	
	2 家族・家庭を見つめる	5	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな結婚、家族・家庭の意義や機能について理解します。 ・時代とともに変化する家族・家庭について学習し、現在の家族の抱える課題などを理解します。 ・家族に関する法律について、現在の社会の動きも交えながら学習し、理解します。 	ディベートなどで、結婚・家族・家庭に関する課題について学習を深めます。また、現在が抱える問題について、新聞記事を集めてレポートを提出します。	
	3 これからの家族生活と社会		<ul style="list-style-type: none"> ・職業労働・家事労働の意義について学びます。また、生活時間からみた現在の課題について理解します。 	仕事にはどのような種類があるのか、労働の現状と問題点について考えます。	
	第2章 子どもと共に育つ 1 命を育む	6	<ul style="list-style-type: none"> ・保育分野を学ぶ意義について学習します。子どもの世界と出会うことによって、自己理解を深めます。 ・子どもの誕生、子どもの心身の発達と特徴について学習します。 	ビデオ鑑賞をし、子どもの成長過程を理解します。	
	2 子どもの育つ力を知る		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの食生活、衣生活や遊びについて理解します。 	子どもの遊び・食生活についての理解を深めるため、絵本・おやつを作る演習を行います。	
	3 子どもと関わる		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発達と子どもをとりまく環境とのかかわりについて学習します。 ・青年期の健康管理の重要性を理解します。 	自分の親や子どもを持つ人にインタビューし、レポートを作成します。	
	5 すこやかに育つ環境		<ul style="list-style-type: none"> ・家庭保育と集団保育、子育てのための国や地域の社会的支援について理解します。 		
	第4章 超高齢社会と共に生きる 1 超高齢・大衆長寿社会の到来		<ul style="list-style-type: none"> ・高齢社会の現状と課題、特に日本の高齢化の現状について理解を深めます。 	少子高齢化についての記事を集めます。高齢者への聞き取り調査を行い、レポートを提出します。	
	2 高齢期の心身の特徴	7	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の心身の特徴や生活について理解を深めます。 		
3 これからの超高齢社会		<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険制度のしくみやサービスの内容、地域住民間での助け合いの活動などを理解します。 			
第5章 共に生き、共に支える 1 私たちの生活と福祉		<ul style="list-style-type: none"> ・地域に根ざした社会福祉の重要性を理解します。 	ライフサイクルにそった社会保障制度のワークシートを完成させます。家族・子ども・高齢者の福祉に関連します。		
2 社会保障の考え方		<ul style="list-style-type: none"> ・家庭生活を支える社会保障制度や社会福祉の重要性について理解します。 			
3 共に生きる		<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動について学習し、興味・関心を持つようになります。 			
地域の防災意識を高めよう		<ul style="list-style-type: none"> ・日本で起こりうる災害について学習し、防災や備蓄についての行き来を高める。 			
ホームプロジェクト		8	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームプロジェクトの課題をみつけ、夏休みに調査・研究を行います。ホームプロジェクトの課題としてボランティア活動を選択することも可能です。 	レポートを提出します。	

期末考査

後期	生活の自立 第6章 食生活をつくる 1 食生活の課題について考える 2 食事と栄養・食品 3 食品の選択と安全	9	<ul style="list-style-type: none"> ・食事調査を通して、各自の食生活の問題点について考えます。また、現在の食生活の現状や課題について学びます。 ・栄養素の種類と働きやそれぞれの栄養素が多く含まれる食品についての基礎的な知識を身につけ、献立作成・調理につなげられるようにします。 ・食品衛生(食品の選択、食中毒、食品添加物)について学び、消費者として、家庭生活を営む者として知っておくべき知識を身につけます。 	各自で食生活診断をします。 調理実習1	期末 考 査
	4 生涯の健康を見通した食事計画 5 調理の基礎	10	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養・食品の知識をもとに、食事摂取基準、食品群別摂取量などを用いて、バランスのとれた家族の食事計画(献立作成)ができるようにします。また、調理に関する基礎的な技術を身につけ、食事マナーを知り、楽しく食事ができるようにします。 	調理実習2 調理実習3	
	5 これからの食生活		<ul style="list-style-type: none"> ・食品の自給率や食に関する環境について考察します。また、環境を考えた調理(エコクッキング)について考え、実習します。 	調理実習4	
	第7章 衣生活をつくる 1 被服の役割を考える 2 被服を入手する 3 被服を管理する	11	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服の起源や歴史、風土に適した衣服などの学習を通して、衣服とは何か、衣服の機能や役割について理解します。 ・衣服素材の種類、繊維の種類と特徴、衣服素材の性能について理解し、用途に応じた素材の選択ができるようにします。 ・計画的な衣生活を送るために、衣服の購入・選択、洗濯・保管、廃棄までの流れを理解します。 	世界の民族衣装を調査します。 衣服の表示調査をします。 衣服管理の目的で、基礎縫いを習得します。	
	4 衣生活の文化と知恵 5 これからの衣生活	12	<ul style="list-style-type: none"> ・衣生活と資源・環境とのかかわり、また、環境に配慮した衣生活について学習します。 ・衣服と健康障害や事故について、また、ユニバーサルデザインについても学習します。 		
	第3章 住生活をつくる 1 住生活の変遷と住居の機能 2 安全で快適な住生活の計画 3 住生活の文化と知恵 4 これからの住生活 5 これからの住まいを考える	1	<ul style="list-style-type: none"> ・住まいの機能、住まいの文化、風土とのかかわり、ライフスタイルと住まいとのかかわりについて理解します。 ・生活の機能に応じた住空間の構成を理解し、ライフステージやライフスタイルに応じた住生活の計画ができるようにします。 ・快適な室内環境について、日照・採光、通風・換気、騒音、冷暖房などの要素を学習します。 ・家庭内事故や災害について学習し、安全な住まい環境について理解します。 ・住環境の役割について考え、地域社会とのかかわりも含め、共生可能・持続可能な住まい・住環境を考えます。 	自分の住みたい家について、新聞広告を用いてワークを行います。 住宅ローンの計算をします。家庭経済の分野と関連します。 学校内・あるいは家庭内のバリアフリー点検を行います。	
	第9章 消費生活を営む 1 情報の収集・比較と意思決定 2 購入・支払いのルールと方法 3 消費者の権利と責任 4 生涯の経済活動を見直す 5 これからの経済活動	2	<ul style="list-style-type: none"> ・消費行動において、意思決定のプロセスを理解します。 ・契約、多様な販売方法や支払方法、問題商法について理解します。また、被害にあった場合の解決方法についても理解します。 ・消費者の権利と責任について理解し、消費において自主的に行動することの必要性を理解します。 ・家庭の収入や支出、予算生活の必要性について理解します。 ・資源・環境に配慮した生活スタイルについて考え、実行できるようにします。 	クーリングオフの擬似学習をします。 問題商法のビデオ視聴をします。 環境家計簿をつけます。	
	第10章 持続可能な生活を営む 1 持続可能な社会を目指して	3	<ul style="list-style-type: none"> ・生活設計とかわらせて、長期の経済設計の必要性について理解します。 	高校生活でかかる費用の算出をします。	
	第11章 これからの生活を創造する		<ul style="list-style-type: none"> ・家庭基礎の学習を生かして、自分らしい生き方を設計します。 	生活設計のレポート	